



榎原中だより

学校教育目標 「仲間とともに自らを磨き続けられる人間の育成」

京都市立榎原中学校
学校だより⑩
令和8年(2026)1月28日
校長 川上 貴由

(第2回) 学校教育力向上に向けたアンケート結果 (保護者)

12月に行われました三者懇談の際に実施した「学校教育力向上に向けたアンケート」の保護者回答(回答数391)の結果をお知らせいたします。ご多用のなか、アンケートに御協力をいただきありがとうございました。この結果につきましては、学校運営協議会・教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。生徒アンケートの結果につきましては、次号以降でお伝えいたします。*数値は「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した人数をあわせた割合になっています。詳細は学校HPに掲載しています。

令和7年度「前期」と令和7年度「後期」との比較

*令和7年度前期より上がった(↑)

*令和7年度前期より下がった(↓)

設問	前期	後期
①子どもは安心して楽しく学校に通っている	94%	91%↓
②学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している	95%	93%↓
③学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる	94%	90%↓
④学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている	93%	91%↓
⑤学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている	89%	84%↓
⑥学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している	95%	88%↓
⑦学校行事の時期は適切である	86%	88%↑
⑧学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている	81%	78%↓
⑨家庭では学校の話題など、子どもとコミュニケーションが図れている	88%	86%↓
⑩子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている	89%	90%↑
⑪家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている	95%	95%
⑫家庭では早寝・早起きに心がけている	66%	66%
⑬子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ会話している	84%	83%↓
⑭子どもは、朝ご飯を毎日きちんと食べている	88%	90%↑

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!

京都はぐくみ憲章

設問	前期	後期
⑮ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている	72%	70%↓
⑯子どもは朝夕の検温など健康観察をしっかりと行っている	36%	40%↑
⑰子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う	73%	69%↓
⑱子どものことについて、先生と気軽に相談できる	87%	79%↓
⑲子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている	52%	56%↑
⑳子どもはハンカチを携行している	56%	55%↓

学校生活について

前期と比較して多くの項目で数値が下がっています。中でも「学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している」の項目で大きく下回っています。数値としては肯定的な回答が8割後半と高い状況ですが、下回っている原因を考える必要があります。また、「学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている」の項目では84%と低い数値を示しています。

これらの要因として、チーム担任制の影響が考えられます。担任間での情報の伝達、指導方針の共有などで引き継ぎがうまくいっていない可能性があります。旧来の担任制を望む声も聴きますが、教職員の年齢構成は若年化が進み、子育て世代の増加も見込まれます。このような状況を鑑みますと、旧来の担任制では担任の担い手が不足することが大いに予想されます。したがって、現在、実施しているチーム担任制はこれからの学校運営に欠かせない制度です。今年度の取組内容を精査しながら改善点を明ら

